

〔6月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

さつば
小二
いとうかい

大平邑峰先生

幼・小学1年参考手本

小一
こいけかな
け

東福青篁先生

ぐえの
小二
たなかゆり

佐藤菜扇先生

小一
そんづばさ
てつ

前田龍雲先生

〔6月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



田守光昭先生

小学3年参考手本



柳橋香仙先生



名越蒼竹先生



広瀬舟雲先生

〔6月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

小六 永田洋子

熱氣

片岡豪峰先生

小学5年参考手本

小五 田島和子

天体

田村鄭雲先生

小六 中山友三

き 海 開

小浜大明先生

小五 野木詩太

川 雨 宿

種谷萬城先生

〔6月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



小林琴水先生



小竹石雲先生



下谷洋子先生



辻元大雲先生

毛筆參考手本解說(1)

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。
ゴシック体（ゴ）・明朝体（明）・教科書体（教）

1
年

3
年

4
年

5
年

The image shows a large central character '花' with stroke order arrows. To its left are two smaller characters: '花' (花) with a stroke count of 5 and the reading 'はな'; and '花' (花) with a stroke count of 4 and the reading 'けい'. Above the main character is another '花' with a stroke count of 5 and the reading 'ひじゅん'. At the top left is the character 'ヒ' with the reading 'ヒ' and the stroke order '方向' (direction). Below it is the character 'ヒ' with the reading 'ヒ' and the stroke order 'とめ'. At the bottom left is a small square divided into four quadrants. At the top right is the reading 'はねの上部あけこ' (the upper part of the opening). At the bottom right is the reading '一サナナサ' (one-sa-na-na-sa).

花びら
ひなげるきあそび

The diagram illustrates the structure of the Chinese characters 天 (Tian) and 体 (Ti).
- The character 天 (Tian) is shown with its radical 夂 (Kǎn) at the top. It is annotated with '許容' (Xǔ Róng - capacity/allowance), '長短' (Cháng Duǎn - length/shortness), and '天' itself.
- The character 体 (Ti) is shown with its radical 亻 (Ren) on the left. It is annotated with '木' (Mu - wood), '木の下部' (Mu no shimo - lower part of wood), '画間' (Huà jiān - stroke interval), '等しく' (Deng shi ku - equally), and '体' itself.
- Stroke order is indicated by arrows: for 天, the vertical stroke of the radical is followed by the horizontal strokes of the character; for 体, the radical's strokes are followed by the vertical stroke of the character.
- Additional labels include '本' (Běn - main body), 'はね' (Hane - neck), '狭くする' (Iku suru - narrow down), and 'イは幅を' (Iwa fuku o - width of Iwa).
- On the right, the characters '一' (Yī), '二' (Èr), '三' (Sān), '天' (Tiān), and '体' (Tǐ) are listed vertically, along with '筆順' (Bì Shùn - stroke order).

てつ(母) てつ(明) てつ(教)

少し出る

波波波は
左たまき
波んじ
はまき
まきまき
まきまきまき

山里(ヨ) 山里(ミヤ)

雨宿

筆順 < 一 一 丨 ノ ホ

点は左下へ向かって
止める

少しう出す

えのぐ (教) えのぐ (明)

いちにゅうい いのちゅうい
とめる

ひろく じげん
衣 衣 衣 衣
乃 乃 乃 乃
久 久 久 久
る る る る
く の の の の

① ゆっくり筆を下ろす
筆圧をかえずに、右下に短く引く
軽くおさえてから、左上に筆を上げる

利	字源	日	宿
利	方向	はなす	長短
利	許容	方向	方向
利あり		六	宀

硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)

さらさらほし

かづくつ

てくる。

しじやらいる

幼・小学 1 年

かづくつ

てくる。

だん・きゅう
がくねん
一
なまえ

ろのバスで十九ふん。
となり町へは青い

青

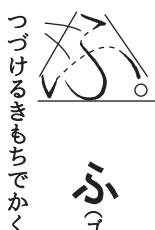


『バス』の字形を正しくかきましょう。
「丁」をさげて書く

小学 2 年

支部名	
段・級	
学年	二
名前	石川たくや

ふ(ゴ) ふ(明) ふ(教)



つづけるきもちでかく

横画は等間隔に
左右の縦部は垂直に

き(ゴ) キ(明) キ(教)

ほ(ゴ) ほ(明) ほ(教)
右上へきもちをつづける

ほ(ゴ) ほ(明) ほ(教)

とめ(ゴ) とめ(明) とめ(教)
右上へきもちをつづける

て(ゴ) て(明) て(教)

[6月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

小学3年

支部名	ような暑い日です。	夏がいきなり始まつた	六月の初め。今日は
段・級			
学年	四年		
名前	小野田和		

支部名	わたしは日記を毎	書いています。	日々
段・級			
学年	三年		
名前	有田ゆかり		

暑
長く

始
（筆順）

初
（筆順）

『六月』
「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて
書きましょう。

「ネ」=衣(ころもへん)の筆順
とめ、うねね
※「ネ」は示(しめすへん)

くじら始

書
長く

よこ分間を開きすぎない
（筆順）

一ノ二ノ三ノ四ノ五ノ六ノ七ノ八ノ九ノ十ノ

書

毎
長く

（筆順）
一ノ二ノ三ノ四ノ五ノ六ノ七ノ八ノ九ノ十ノ

日々
書きましょう

『日々』(ごんべん)の形に気をつけて
書きましょう。

とにかく、「毎」の字形を正しく書きましょう。

[6月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

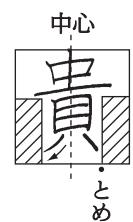
支部名	像	た	貴	交	今
段・級	前	だ	重	流	日
学年	に	い	な	会	の
六	植	た	キ	議	会
名前	え	の	ク	の	議
大谷 真夕	ま	で	を	目	的
	し	校	五	は	は
	た	庭	株		
	。	の	い		
		銅			



庭 (庭) (明)

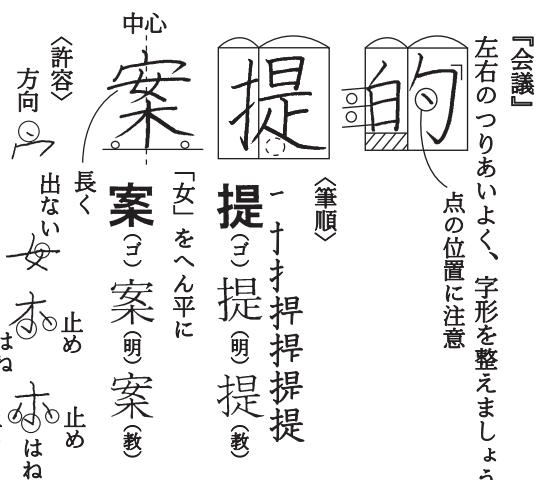


庭 (庭) (明)



『キク』
文字の外形を見て字形を整えましょう。
画の長さと「はらい」の方向に注意

支部名	る	こと	で	ある	。	今
段・級	と	ど	あ	る	。	日
学年	あ	と	あ	る	。	の
五	る	こ	と	で	ある	会
名前	高田	こと	と	ある	。	議
	美雪	こと	と	ある	。	の
		と	と	ある	。	会
		と	と	ある	。	議
		と	と	ある	。	の
		と	と	ある	。	会
		と	と	ある	。	議



[6月8日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生(行書)

中学生(楷書)

*書写用具は、えんぴつ、フェルトペン、ボールペン。筆ペンは不可。

支部名	ロープウェイで山頂まで登
段・級	中二
学年	中二
名前	千葉菜奈
学年	中二
名前	千葉菜奈
学年	中二
名前	千葉菜奈

支部名	の空気が私を出迎えてくれた。
段・級	中二
学年	中二
名前	千葉菜奈
学年	中二
名前	千葉菜奈
学年	中二
名前	千葉菜奈

登	大
登	大
登	大

楷書

行書①

行書②

・行書のワンポイントアドバイス
右はらいの形には、一二通りあります。
行書①は右はらいの終筆を軽く止めています。△印
行書②は、逆にそり、終筆をしつかり止めています。●印

〔筆順〕
フタタハハ登
登(ヨ)明登(セイ)
迎(ヨ)レロ印仰迎
迎(ヨ)明迎(セイ)、
バランス注意
字形

中心
雄大な景色と

『ロープウェイ』
漢字、ひらがな、カタカナをつりあいよく
書きましょう。

これからのお作品締切日と課題

令和4年7月号～12月号までの作品締切日と毛筆課題

が	果
目	地
標	区
で	予
し	選
た	出
。	練
切	習
る	こと
こ	成

い	も
え	り
が	の
あ	な
り	か
ま	に

小	花
み	だ
ん	ん
な	の
で	ざ
と	つ
り	草
ま	を

兄	と
家	友
に	だ
帰	ち
ま	だ
と	と
め	三
見	人
一	人
つ	と
こ	と
で	が

青	大
い	き
き	き
ま	を
し	を
ゆ	な
た	白
。	い
く	い
り	飛
飛	行
ん	船
が	が

7月号の硬筆課題

*硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

中学生 (全学年共通)	小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日
歩砂浜を	適切	健康	白い波	パンダ	人口	はいく	の 7月7日 7月
おみこし	宇宙遊泳	文化財	林間	七色	つり糸	さんご	あめ 8月5日 8月
波打ち際	湖畔	道路	思いやり	節水	青	こかげ	
青蛙 おのれもベンキ ぬりたてか	異口同音	大空の旅	海底	美しい	上下	ハム	
	平安の	美術	馬車	平行	月見	やさい	ま 9月7日 9月
はな	無我夢中	くりの実	読む	虫のこえ	光る	おんぶ	ふえ 10月5日 10月
秋の夜長	競技	庭園	青空	考える	水玉	このは	
いわし	一步千金	氣配り	里の秋	風力	ランプ	もみじ	
成お持て	縮図	街角	ちぎれ雲	葉	点	あかり	ひ 11月7日 11月
くれ	漢和辞典	現代の書	星の光	赤い実	火山	おやつ	そら 12月5日 12月
知る字源を	温暖化	ブランド	冬山の朝	詩人	マウス	まぼう	
かなぐれ	風力発電	誠実	理想	もみの木	森	ひなた	かぶ

中学生

近頃は、安全で健康によいもの
を求める人々を中心いて天然酵母
パンが見直されている。

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

姓・名の順に表記する

- ① 日本人の姓名をローマで記す場合、姓すべて大文字にする
「YAMADA Haruo」
「TANAKA Yuri」
「AOHIMA Ryoji」
- ② 名を1文字目だけで示す場合には、
「Yamada H.」
「YAMADA H.」
「Yamada,H.」
などとする。

日本人の姓名をローマ字で示すときには、

姓ー名の順に表記する

「公用文作成の要領」は、見てから70年ほど経て、内容に実態と合わなくなっている部分がありました。近年のSNSによる広報等も含め、一般の人々に直接向けた情報発信にも対応できるよう改める必要性が指摘されました。内閣官房長官依命通知によつて今年一月からいよいよ新しく改訂されたものが周知されることとなつたことを前号でお知らせいたしましたが、その重要な点を引き続き記します。今回は「I-6 その他の原則」の中から紹介します。

公用文では「日本人の姓名をローマ字で表記するときには、差し支えのない限り「姓ー名」の順を用いる。」と記されました。今は「日本人の姓名を、ローマ字表記の慣習にあわせ、日本人の姓名を、ローマ字で示すときには、姓と名の順番を逆にしていま

る方が欧米人に、日本人の名と姓が判りやすいのではないだろうか」と、よく言えば、これこそ日本人特有の相手を敬う思いやりの表れと言えます、

記の時は、姓と名の順番を逆にしていました。こうする方が欧米人に、日本人の名と姓が判りやすいのではないだろうか

と、よく言えれば、これこそ日本人特有の相手を敬う思いやりの表れ

するときには、差し支えのない限り「姓ー名」の順を用いる」と記されました。今まで、欧米の慣習にあわせ、日本人の姓名を、ローマ字表記するときには、差し支えのない限り「姓ー名」の順を用いる」と記されました。今は「日本人の姓名を、ローマ字表記の慣習にあわせ、日本人の姓名を、ローマ字で示すときには、姓と名の順番を逆にしていま

第63回 日本人の姓名のローマ字表記の変更

別な見方をすると、少しでも欧米の文化に近づこうとした真似ともいえましょう。本来、日本人の姓名は姓が先です。この要領の本文中に「差し支えない限り」という文言がありますが、これからは、なるべく本来の「姓ー名」の順にと読みます。

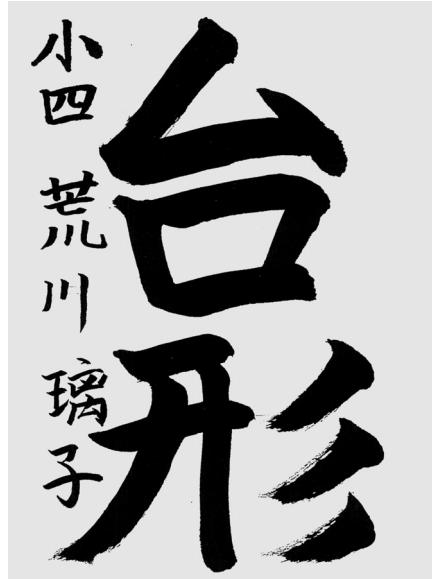
ところでローマ字はアルファベットなので小学校では新しく導入された外国語（英語）の時間に学習すると思われがちですが、国語の時間で学ぶものとなっています。なぜならローマ字で表記するものは日本語が主だからです。小学校でのローマ字学習は、かつては四年生でしたが現在では三年生からです。全国の各小学校にタブレットなどICT機器が導入されたことによって、ローマ字によるタイピング（ローマ字入力）することが必要となつたことが挙げられます。教科書によって、小学校でローマ字を学ぶ時間数と時期は異なるようです。小学校国語の教科書でみますと、M社本では、三年の上巻の中に「ローマ字」の単元があり九月ごろに授業数は四時間、下巻の中に「コンピュータのローマ字入力」の単元があり二月ごろに二時間で、計六時間。T社本では六月にローマ字①、十一月にローマ字②の単元があり、計五時間となっています。

文字の入力には、カナ入力と、ローマ字入力があります。どちらの方法にも、長所・短所がありますが、初心者は、キーの位置を覚えやすい「ローマ字入力」がお薦めです。文字入力に必要な覚えるキー数がカナ入力よりも少なく、入力する際の指の移動距離も少ないと分かります。（つづく）

今月のホープ



中三 鶴岡海来（真雲会支部）



小四 荒川璃子（五月会支部）

しっかり安定した的確な用筆で、まとまりよい作品です。点画のバランスもよく、名前も着実に書けています。

紙面を上手に使って書かれています。伸びやかな線で気持ち良く書き上げました。名前のバランスよく丁寧な作です。

支部名	せん
段・級	
学年	六
氏名	森田沙葉
記録を作りたい。	小学生として最後の年。思い出に残る学習

小六 森田沙葉（せん支部）

漢字・かな共に筆力強く、調和のとれた見事な作品です。一点一画を気持ちを込めて書かれ、安定感が抜群です。

支部名	千石
段・級	
学年	五
氏名	山中美沙
心を向けてみよう。	く、少し広い世界に身の回りだけではな

小五 山中美沙（千石支部）

丁寧な運筆で漢字とかなのバランスがとても良いです。文字の基本をしっかり勉強した、習熟度の高い立派な作品です。

書道芸術院春華賞



前衛書部
大町 青蓮



「ひたむきに」

大町 青蓮

第75回記念書道芸術院展におきま
して、栄えある「春華賞」を賜り
感激と感謝の気持ちでいっぱいです。
翌年65回記念展で「記念賞」を受

賞致しました時の事は、今でも深く
心に残っています。10年後の今年
奇しくも「春華賞」受賞とは、
ご推挙頂きました先生方と同じく、
これまで育てて下さった宮城野書人会の
先生方に厚く御礼申し上げます。
「春華賞」は遙か彼方で光輝く、
私は手の届かない賞であると思つ
ております。受賞作品「ひたむき」
には書線と空間を意識しながらも
心は無で一気に仕上げました。

この度、第75回記念書道芸術院展
にて「大賞」という思いもよらない
賞を賜り驚きました。これもひと
えに書道芸術院の先生方、故高橋小
汀先生、玄葉さん

書道芸術院大賞



前衛書部
三浦 朱鳳



「支えられて」

三浦 朱鳳

感謝申し上げます。私は小汀先生と
出会い書を習い始めました。東日本大
震災後、書道を一時中断しました。
その後に全力を注ぐ日々の中、「千葉
先生から書道の道具が届いてからそ
ろそろ稽古始めませんか」と小汀先
生から声をかけて頂き涙がとまりませ
んでした。家族もすすめてくれ書道再開しました。
今元気で暮せているのは多くの方々の
支えのお蔭と感謝の毎日です。今回の
受賞作は、「自分の気持ちを」と紙に
向かつた最後の1枚でした。この受
賞を心にとどめ日々精進してまい
りたいと存じます。

△編集部より
二月に全国学生書道展と一緒に
に行われた大人の展覧会上位
作品です。

第75回記念書道芸術院展

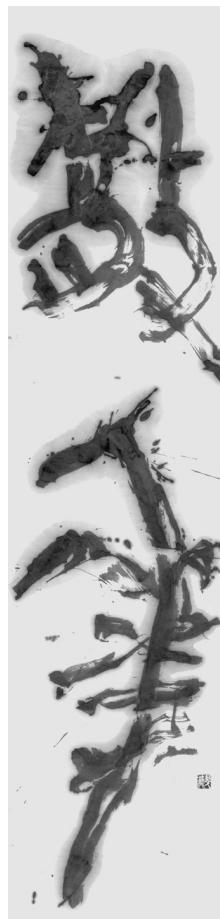
第75回展記念賞

— 審査会員 —



「池尻足穂の句」

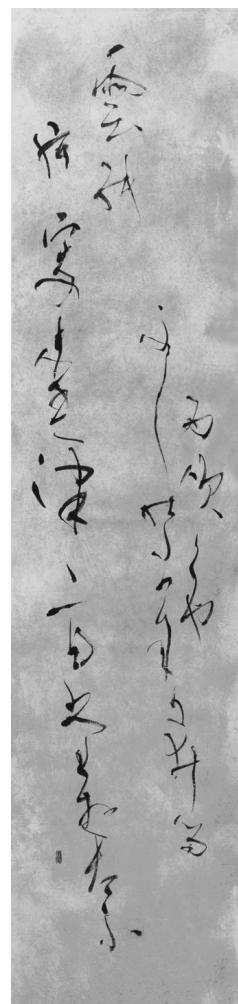
武山 櫻子



「散華」



「李白詩」



九條 純代



「塵不動」

大沼 樹峰

7月号毛筆参考手本（予告）7月7日締め切り分

幼
•
1
年

いぐちりさ

あめ

小こはしゆみ

2
年

くはい
山本れん

小二
山本れん

3
年

人口

三山洋子

つり 系小三 田中空

4
年

ダンパン

小四
坂本花子

5
年

波白

小五
木下美子

林間

小五
石川快

6
年

小六 平田 定子 健康

平定
刀

中
學

適切

口一和口是和

宇宙遊泳

中二久保有花

砂浜を歩く

中三
佐藤二郎

中三
南木みほ

中三
由木入(元)

編集余錄

○新年度が始まりました。ご入学・ご進級おめでとうございます。新しい生活に慣れましたでしょうか？楽しく充実した毎日となりますよう頑張っておられます。

○5月8日が昇段級試験作品の締め切りとなります。「昇段級試験受験一覧」がお手元に届きましたら、現在幼稚園・保育園の中・年少の方のご確認を特にお願いいたします。システムの都合上、幼稚園・保育園生全員が新一年生の出品券になっています。幼稚園・保育園なのに1年となっていましたら、「昇段級試験受験一覧」に学年の訂正をしてください。

○硬筆の消しゴムを使わないよう努力してみてください。書き間違えたり、バランスが悪いと思つたら頑張つてもう一枚書いてみましょう。また、筆ペンの使用は違書となりますのでご注意ください。力作をお待ちしております。

○コロナ禍で第73回全国学生書道展の表彰式が出来なかつたため、6月号・7月号で写真を送つて下さった入賞者の皆さんをご紹介いたします。皆さん、おめでとうございました。